

### 各教科の指導の重点

- ①都・区の学力調査を有効に活用し、「授業改善推進プラン」を立案、教科部会を中心に指導・評価・支援の一体化を組織的に進めます。
- ②中野ミニマムを踏まえた、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図ります。
- ③各教科の指導計画の中に、言語活動を中心にした活用型(主体的・対話的な深い学び)の指導内容を盛り込み、授業の中で協議・討論・発表する活動(4人組)を取り入れ、思考力・判断力・表現力の育成を図ります。
- ④任期付短時間教員を活用して放課後補習授業を行います。定期テストの前には学力充実期間として、補充学習の充実を図り、家庭学習の定着と学習意欲の向上を図ります。さらに、緑野学習コンテストを長期休業期間明けに実施します。
- ⑤長期休業を活用して三者面談や学力補充教室を実施し、個別の学習課題解決のために学習支援を充実させます。
- ⑥各教科において教材教具の充実、ICTの積極的な活用を進めます。
- ⑦数学、英語、音楽、3年生は技術・家庭科等の教科で少人数指導を実施し基礎・基本の定着と個に応じた指導の充実を図ります。
- ⑧体力テスト等の結果を分析し、体力向上プログラムを作成します。食育と規律ある生活の維持のための指導を教育活動全体において進めます。
- ⑨特別な支援が必要な生徒に対しては、個別指導計画を作成し、全教員で共通理解の上立った適切な指導を実施します。
- ⑩朝読書を実施し、読書に親しむ習慣を付けさせ、読書活動の充実を図ります。

### 法規等

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・学習指導要領
- ・都教育目標
- ・区教育目標

### 学校教育目標

「探求・創造・共生」

### 実態・要望

- ・学校、地域の実態
- ・保護者の期待や願い
- ・地域の期待や願い
- ・教員の教育理念
- ・期待される生徒像

### 道徳教育の指導の重点

- ①学校教育全体で取り組む道徳教育の要としての「道徳の時間」をより一層充実させます。
- ②「いのち」に関わる学習を推進し、規範意識や他を思いやる心を育てます。
- ③教師と生徒相互の人間関係を深め、信頼関係に依拠した道徳教育の実践を通して「豊かな心」を養います。
- ④保育体験、職場活動等の体験活動の機会を設け、人間としての生き方や社会とのかかわり方、勤労観等の道徳的実践力を培います。
- ⑤道徳授業地区公開講座等を通して、保護者や地域の人々の積極的な参加や協力を可能にすることで、開かれた道徳教育を目指します。

### 学校経営方針

### 本校が目指す生徒像

- ・自ら学び、よく考え、ねばり強く実践する生徒
- ・夢や希望をもち、目標をかかげて努力する生徒
- ・心身ともに逞しく、進んで健康に心がける生徒
- ・命を大切にし、思いやりをもって行動する生徒
- ・地域社会の一員として、公共の精神を尊ぶ生徒

### 生きる力

### 本校における「確かな学力」

- ・基礎的学習習慣の確立
- ・生徒の自主的主体的学習の確立
- ・学習の苦手な生徒への指導
- ・学習の進んでいる生徒への指導
- ・生徒の多様な能力の伸長

### 特別活動の指導の重点

- ①学年や学級において、目標に向けて協力して取り組む集団活動を充実させ、生徒の社会性を育み自己肯定感や自尊感情を高揚させ、自分に対する自信をもたせます。
- ②生徒会活動を活性化し、自主的な活動の機会を増やしその内容を充実させることで、自主・自立と協力・協働の精神を養います。
- ③ボランティア活動や地域交流活動を通し、地域社会における様々な人々との交流を深め、地域の一員としての自覚を高め、社会に貢献できる能力や態度を育成します。
- ④小中連携の相互交流活動を推進して、小学校から中学校への円滑な接続を確立し、先の見通しと目標をもって意欲的に取り組む生徒を育成します。

### 総合的な学習の時間の指導の重点

- ①生きる力を育むため、生命の尊重に関する学習に重点を置き、教科の枠をこえた学習を実践します。
- ②教科の指導内容との関連を図りながら、探求的な学習や課題発見と課題解決学習を取り入れ、自ら考え、行動できる力を育成します。
- ③自ら設定したテーマに基づき、学校図書館やICTを活用して情報を収集し、知り得た事から自分の考えをまとめ、意見発表やプレゼンテーション等の活動を通じて、言語能力とそれを利用した発達の育成を図ります。
- ④東京オリンピックに向けて、オリンピックやパラリンピックに出場した選手による講演会等を実施し、将来に夢や目標をもち、その目標達成に向けて学び、考えを深めようとする生徒を育成します。

### 進路指導の重点

- ①上級学校調べや訪問、職業調べ・職業体験を実施することにより、キャリア教育を充実させ、望ましい職業観、勤労観を育成します。
- ②多様な体験活動を通して自己の適性を発見させます。そして主体的に進路を選択できる力を育てるとともに、生涯にわたって学び続ける力の基礎を築きます。

### 生活指導の重点

- ①学校生活のあらゆる場面において毅然とした態度で指導を行い、基本的な生活習慣の確立を図ります。
- ②校内環境の整備に努め、生徒が安心して通うことのできる環境を整えます。
- ③生徒との心の触れ合いを大切に、生徒の思いや願い、悩みを受け止めながら自己実現が図れるように支援します。
- ④スクールカウンセラーや心の教室相談員と連携を図り、教育相談体制を充実させます。不登校生徒に対して家庭訪問等により信頼関係を築き、保護者とも協力しながら改善を目指していきます。
- ⑤社会の一員としての自覚を深め、社会的規範を守り、正しい判断と責任ある行動がとれる生徒の育成に努めます。
- ⑥きめ細かい生活指導を行うことで、いじめ等の問題行動を未然に防止するとともに、問題行動発生時には全校体制で指導にあたります。校内にいじめ対策委員会を設置し、毎週1回状況把握に努めます。
- ⑦セーフティ教室を実施し、家庭・地域・関係諸機関との連携を図り、生徒の健全育成に努め、非行防止や交通事故、犯罪等から身を守る教育を推進します。

### 本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	小中連携教育の充実	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎・基本の確実な定着を図る指導の工夫・改善               <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト、単元テスト、実技テストなどを通して各生徒の到達度の把握と対応</li> <li>・教科の知識・技能の習得</li> <li>・読書指導</li> </ul> </li> <li>○個に応じた指導の充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返しの指導</li> <li>・個別指導やグループ指導</li> <li>・少人数指導</li> <li>・課題学習</li> </ul> </li> <li>○学習規律、学習習慣の徹底、ガイダンスの実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習ルールの指導</li> <li>・学習習慣の定着</li> </ul> </li> <li>○学習指導の改善               <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材開発、基礎学力定着のための指導法の工夫・改善</li> <li>・任期付短時間教員の活用</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領の改訂のポイントを踏まえた工夫               <ul style="list-style-type: none"> <li>・週時程や教科時数の確保の工夫</li> </ul> </li> <li>○基礎・基本の確実な定着を図る指導計画の作成               <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画の充実</li> </ul> </li> <li>○基礎・基本の確実な定着を図る指導の工夫・改善               <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数指導の実施(数学・英語)</li> <li>・音楽や3年生の技術・家庭科の少人数指導の実施</li> </ul> </li> <li>○学力向上を図るための取組               <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科部会と学年会の連携</li> <li>・長期休業中の補習</li> <li>・放課後の補習(学生ボランティア)</li> <li>・学習の基盤となる学級づくり</li> <li>・単元テストの実施</li> <li>・学習コンテスト(年2回)の実施</li> <li>・英語検定、英検I B A、漢字検定等の校内での実施</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小中連携教育の研究の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・中野区の研究指定</li> <li>・ICTの効果的な活用</li> </ul> </li> <li>○小学校との連携教育の充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中連携教育協議会、オープンキャンパスの実施により、小中教職員の相互理解を図り、小中の実態を踏まえ連続した教科指導の工夫</li> </ul> </li> <li>○近接する小学校との兄弟校交流で中1ギャップを解消               <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語・理科・数学・保健体育の乗り入れ指導の実施、小中での合同防災訓練</li> </ul> </li> <li>○生徒理解を深め、個に応じた生活指導を充実するための研修</li> <li>○学習に対する生徒の興味関心を高めるための指導・評価の工夫</li> <li>○小中合同道徳研修会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎・基本の確実な定着を図る評価の工夫               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「指導と評価の一体化」</li> <li>・評価基準の明確化</li> <li>・評価説明会の実施</li> <li>・評価場面の工夫</li> <li>・評価Cの生徒の分析と支援</li> <li>・指導の自己点検</li> <li>・評価計画の見直し</li> <li>・つまづきの出やすい単元と教材の洗い出しと改善</li> <li>・各単元の基礎・基本の見直しと指導上の工夫</li> <li>・指導目標の再確認と学習活動の見直し</li> <li>・学習コンテスト実施後の努力生徒の表彰等の実施</li> <li>・評価方法に関する校内研修会の実施</li> <li>・評価説明保護者会の実施</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎・基本の定着を図る教育課程を保護者・地域に説明               <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動の公開、教育課程説明会の実施、土曜参観の実施、学校公開の実施、発表会等への呼びかけ</li> <li>・保護者会の持ち方の工夫、面談等の実施</li> </ul> </li> <li>○学校関係者評価・生徒評価の実施と情報提供の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や外部評価委員会の評価のフィードバック</li> </ul> </li> <li>○PTA活動との連携、日常的連携と地域懇談の工夫</li> <li>○学校ボランティアの活用</li> <li>○早稲田大学との大学院連携</li> <li>○関係諸機関との機能的連携</li> <li>○学校評議員との連携</li> </ul>